とかち新聞　主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

日本最大の行樂地に

通産省が足寄指定

足寄町では小坂山周辺の町有地約一千㌶をハイランド株式会社に売り払いして町に代つて企業による観光レクリエーション基地の建設をすすめるとともに、通産省きも入りでできた財団法人余暇開発センターにたいして開発の基本構想についてのコンサルタントを委嘱していましたが、昨夏来全町にわたつて現地調査をつづけいた同センターの梅田主任研究員、原研究員らの一行が東京でまとめた報告書を持参して二月二十四日に来町して説明会をひらき、小林町長、富田助役をはじめ各課長に大滝議長吉田産業委員長、新沼文教委員長、亀谷土木現業所係長、鈴木ハイランド社専務らと意見交換をしました

この報告書によればハイランド社の当初の計画を二十倍にした大がかりな構想となつており、小坂山高原リゾートエリア（行楽地域）の場合はは大規模草地、畜大草地研究施設、西ドイツ草地研究所、北斗営農団地をもふくめてグライダー競技場やアルバイト学生村などが加わり、四百人収容のホテル五棟、五百人収容の青少年用宿泊施設二棟、三千人収容のマンション、一千五百人の別荘地、五百人の高級別荘地、二百五十台収容の自動車キャンプ場、二千百台収容の大駐車場などを建設して常時一万人の滞留客がいる行楽地にしようとするもので、スキー場ゴルフ場のほか国際競技可能なアーチェリーフイールド、乗馬学校、スキー学校が設けられます。

これらに要する建設費は四百十億円に達する巨額なものなので、余暇センターに参加している電々公社、日本交通公社をはじめ日本の代表的な企業や銀行など百社のなかから、同センターのあつせんによつて、土地所有者のハイランド社を中心にした共同企業体をつくり、本年から十カ年計画の予定で完成させようとしており、ここへ通ずる道路については道や国が協力することになつています。

報告書では上足寄からオンネトーにかけての観光拠点化については十二億八千万円の事業費をみていますが、こうした大がかりな観光、レクリエーション基地は全国で五カ所建設されることになり、北海道では足寄町だけ、本州に三カ所、沖縄の海洋博跡地を通産省が指定して五十年度予算に足寄の調査費一千二百万円が計上され、五カ所のうち足寄が最大の規模となつており、いわゆる緑の高原郡市づくりが本格化することになりました。

五十嵐広三氏の会

超満員の盛況

道知事候補予定の五十嵐広三氏を迎えての足寄町のつどいは二月二十七日午後六時すぎから公民館大ホールに、同館開館いらい最高の八百名近い聴衆をあつめてひらかれました。

西川地区労副議長の司会で、はじめに地元の斉藤農協組合長、高農民同盟委員長、谷口地区労議長から歓迎のあいさつがあり、出札中の小林町長から電報によるメッセージがあつて演説会に入り、吉田十勝地区労ブロック議長、新村道議、保格道議候補予定者、丸谷池田町長、美濃代議士からそれぞれ自民党政治への批判がおこなわれたあと、会場最後部からライトに照らされて五十嵐氏が入場して満場の拍手によつて登壇、四十五分間にわたつてつぎのように熱弁をふるい、本別会場での寄せ書きの赤旗をうけとり午後九時近くに閉会して会場での拍手にこたえて握手をかわしながら退場しました。

官僚道政はもう御免だ

北海道二百十二市町村、東北六県に新潟県を足しただけあり、七県分の知事選挙を一辺にやるわけで大変ですが、各地で道民のみなさんと対話をかさねながらもう長い官僚道政は御免だと、庶民の心を心とした新しい道政がほしいーこれがみんなの気持だつたようで考えてみるとこの北海道へ本州からやつてきて百五年間は、上からおろされてくる政治だから住んでいる一人々々の人間のもつている切なさや苦しみや願いや夢というものは政治に反映しない、これではみながなつとくする政治にならない

福祉でみると四十七都道府県があるが保育所は四十四番目、殊に乳児や障害児の保育などみるものがない

老人問題もそうで市町村は一生県命に養護老人ホームをつくつているが道の方はサッパリで、保守道政になつてから一つもつくらない、だから東北のどの県よりも老人の収容数はすくない

教育をみると北海道の道立高校の生徒がすくない、人口千人に対して福島県の県立高校の生徒は三十九人、秋田県は三十八人、岩手県は三十七人なのに北海道は二十六人でどの県よりも見劣りする、高校を卒業して大学はどうか、学生は全国で百八十万人いる、人口千人に対して十八人だが北海道は十人しかいない、五五％の大学生は本州へいつている、その数すくない大学が札幌中心に八四％集中し、これでは道東や道北や道南は顧りみられていない

物価をみれば北海道価格がデーンと坐つている、灯油、プロパンはもちろん板ガラス、建材類、セメント自動車など北海道だけ高いまだまだ品目はあるが、道庁には実態を調べた資料がない、北海道は寒くてご苦労さんと特別に安い北海道価格にしてもらいたいが、そうまでいかなくて本州と同じ値段でものが買えるぐらいは当然で、なぜ行政がこれを解消する努力をしないのか、選挙になつてわかつたが、あれだけ企業ぐるみのお世話になつていて、ところでお宅の値段を下げてくれとはいえまい

結局、北海道価格を解消するには企業であろうと権力であろうと住民のためにならないことにはノーといえる行政体質をつくらなければならない

私どもの新しい北海道の方針はこの立ちおくれを挽回しその雰囲気を解消しこの北海道に本当にみなが安心して住めるようにして人間のもつ可能性がここで最大限に花ひらく北海道をつくること、その人間道政が才一の目標でなくてはならない、すべてが経済のところからくみ立てられていた秩序を人間のところにおきかえてそこに新しい秩序をつくることであり、二番目にはそれでは経済はどうかいままで長いあいだ北海道の経済の構造はいいところは常に本州の大資本にもつていかれてきたが、我々が苦労しがいのある北海道にすべきで、そのために一次産業を大事にする、農業、林業、漁業、石炭産業ー北海道で一番大切なこの基幹産業はここ十数年の自民党政府の高度経済成長政策とそれに盲従する保守道政の誤つた経済政策によつて衰退を余儀なくされたのは最大の失敗であると思う

農業基本法だつていまの実態に合わないから自給体制を中心にした法律につくりかえるべきで、政府の考えは工業立国を基本にしているので工業製品をドンドン輸出する、その見返りに食糧を入れてくる、だから農業は押えていく、押えた農村から労働力ははじき出る、これをふりむけて工業製産をあげる、こういうサイクルになつている

長いあいだ日本の農業は資本主義のその土台にされてきた、しかし政府がどうグラグラしたつて、この北海道は農業を基幹にしていくのだと五百三十万道民の合意を確認すべきだと思う新重農主義をかかげてその旗のもとに北海道農業振興条例を制定すべきである、そしてキメのこまかい実態に即した諸政策をこの条例のなかにもり込むべきである、それだけではない、農民の血を行政の中心部に入れるべきで、いま副知事の三人とも官僚の古手で、これでは庶民的な道政にならない、知事も官僚出身だからなおさらで、農民代表を一人副知事にすべきである

（以下次号へつづく）

あの町この街

十六億円の赤字とは

★陸別町の場合はどうやら杉田町長の二選独走になりそうですが、足寄町の場合はこれまで三選を果した例がないように小林町長に対して岡教育長の挑戦。

★二度もつづけての独走は許されないと、岡氏の勇気に声援の動きも活発で、すでに両派決戦のスタート

★昨年の本別町長選では現職の水元氏の三選を阻止しようと『町民と共に未来をつくる町を育てる会』ができて対抗馬に井出利一郎氏を立てたものの、同氏の断念によつて『育てる会』はいつのまにか雲散霧消。

★「明日の足寄町を創る会」の会長に推された我妻孝一氏は『小林、岡氏のどちらが町長になつても町政を監視していく』とのことで、この会が岡後援会のなかで結成されても我妻会長の格調の高い方針で運営されるなら結構だし、本別の二の舞を演じたくないもの

★しかしこのたび全町に配布したこの会のお知らせのなかで『いつのまにか十六億円の赤字財政となり町民の一家族が約五十万円の借金を背負つた』との文章

★そんな赤字があるなら町議会で問題になる筈だし支庁も道も自治省も放つておくわけがないことで、赤字財政云々は全くのデタラメ。

★しかし学校や道路や福祉事業などの町債のことをいうのなら、この借金は国や道の審査、許可をうけ議会の議決によるもので、辺地債、過疎債などは借りてもあとで国が補給するので全国の自治体がこの起債に頼つており、足寄町の未償還の現在額は七億四千八百二十七万円で、高橋前町長川上元町長時代からのもの

★問題はこの負債が多いかどうかで、元利償還が年間予算の二〇％以上になつては不健全となるが、町の場合は六％であり健全財政

★町財政に無知な住民をダマすような文書戦術にフンガイして『町を創る会』の山岸喜一会長代行が辞任したように、「デマを創る会」であつては困ること。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊇久保呉服店
足寄町　T二一四八

足寄市街婦人会の貸し衣裳
男もの紋付、はかま、モーニング
とめ袖、喪服など御利用下さい
ご連絡は三笠通り品川はきもの店　T二〇五五へ

明るいスナック
シャンブル
足寄町南一区　T二〇三三

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

一五〇キロ高速ホイルバランサー　新鋭機
レッカー車　フレーム修正機　導入！
RM アクリル　調色機
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T二五七八　夜間専用　三七一九

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T二三六二　工場西五区

技術に生きる！
ビクター
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社　ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642

春物衣料が沢山入りました
新入学を控えてお子様のお服からお母さまのお服まで新型がいっぱいです。夢と希望を乗せての前田呉服店からのお知らせ！　とにかくご来店下さい　今すぐに！　なお足中女子制服別注も大至急ご用命下さい　京呉服展示会も盛況の裡に終りましたが階上展示物は続けていますのでご用命下さい。
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T一二一二